

今や車には必需品のドライブレコーダー。でもまだまだ車の購入時には標準装備とはなっていません。いざという時の備えに用意しておきたいものです。

### 第3の目撃者として！

**ドライブレコーダー**は、最近ではどのタクシーに乗っても付いています。乗り合いバスや貸し切りの観光バスなどにも付けられるようになりました。業務用では事故処理よりも事故防止の教育や指導などに使うことが多いようです。

家用車でも車を運転する常備品として最近注目されています。(高速でのとおり運転などの被害も報道に新しいですね。)こちらは、事故防止の意味もあるでしょうが、交通事故やトラブルの動かぬ証拠として使用することが多いのではないのでしょうか。最近では、各メーカーからの出荷台数も増えているようです。

実際、事故となると一瞬の出来事で記憶もあいまいになりがちでしょうし、目撃者がいない場合もあります。当人同士の証言だけでは曖昧さも残ります。そうなるとその瞬間を記録しておくしかありません。録画映像があるとその後の事故処理もスムーズに運ぶはずですよ。その意味でも、映像の録画は欠かせないではないでしょうか。



### どれを選びましょう？

**ドライブレコーダー**は、まだ車の標準設備とはなっていませんので、購入後取り付ける必要があります。機器も数千円から数万円と幅広い価格帯で販売されています。

購入の前にこういう案もあります。買い換えてまだ手元に残っている古いスマートフォン、引き出しの奥に眠っていませんか？もう通話はできませんが、インターネット(Wi-Fi経由)やその他の機能は使えます。ドライブレコーダーのアプリを入れて、それを使ってみましょう。とりあえずのレコーダーには使えます。車に固定する器具はホームセンターなどで安くで手に入ります。



レコーダーを新たに購入する場合、どこに注意しましょうか：安ければいいというものでもありませんので、ここは慎重に選びたいものです。

次に、ポイントをまとめてみましょう。

- ① 画素数ー記録できる映像の細かさ
- ② 解像度ー再生時の映像の細かさ
- ③ 画角ーカメラから見渡せる角度
- ④ GPSー位置情報の取得
- ⑤ Wi-Fiーインターネットへの接続
- ⑥ 自動イベント録画ー衝撃などがあつた時に、その時の映像を別フォルダーに保存する機能
- ⑦ フリッカーレス機能ー録画時のちらつきを防止する機能
- ⑧ 駐車監視ー車のエンジンが停まっている状態でも録画できる機能

この中で重要な要素は⑥と⑦ではないでしょうか。

映像の録画は、通常数分ごとに分割され保存されていきますが、古いものはどんどん新しい録画映像に上書きされていきます。⑥の機能がないと、その瞬間の映像が上書きされて残らない場合があります。それを防止するために、その瞬間の映像は別フォルダーに保存されます。

⑦の機能は主に信号機の色をはっきりと録画するためのものです。この機能がないと信号機の色が判別できない場合もあります。また、当て逃げなどの対策で⑧もあるに越したことはなさそうです。

当然、高機能の機器は価格も高くなります。目的とフットコクとを併せて機器を選びましょう。

ドライブレコーダーがあると、いざという時の証拠として、また、あるということでも普段の運転も慎重になるかもしれません。

ドライバー目線で録画しますので、編集して旅の記録とするのも良いのではないのでしょうか。

なお、録画用のSDカードは、容量が大きく記録速度の早いものが良いでしょう。

教室のWebページは左記アドレスから、スマホ・携帯からは、QRコードからごつぞ。新聞バックナンバーもご覧いただけます。

<https://pc-iwakura.com/>

